

施策名 (直接目標)		成果指標	成果指標の達成状況等											原因分析等			
			目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	H30年度	R1年度	R2年度	第2期総括 目標値 (R3年度)	指標の補 足説明 ※1	H30年度 達成度	R1年度 達成度	R2年度 達成度		R3年度 達成度	第2期総括 達成度	
1-4-1	総合的なケアの推進 (多様な主体による地域での 支え合いのしくみをつくる)	地域包括ケアシステムの考え方の理解度	目標値			－	24	－	32	%	－	d	－	d	d	●「地域包括ケアシステムの考え方の理解度」については、目標値を下回りました。50代以下の数値が低い状態が続いていることがわかりました。また、数値が低い方の特徴として、同居家族に65歳以上の方がいない、川崎市への居住年数が短い、日頃から市・区職員と接する機会がない、等が挙げられることから、引き続き、若年層等への効果的なアプローチ手法を検討する必要があります。補足的な指標としては、地域包括ケアシステムポータルサイトへのWeb漫画の掲載や、定期的な更新の継続によるアクセス数の増加がみられるほか、地域包括ケアシステム市民シンポジウムをオンラインで開催したこと等により令和2年度以前よりも参加者数を増加させるなど、意識づくりに向けて一定の取組が進んでいるものと考えます。	
			実績値	10.1	9.9	－	9.9	－	9.2								
		民生委員児童委員の充足率	目標値			96.5	96.7	97.0	97.2	%	c	c	c	c	c		
			実績値	90.5	87.8	86.9	81.6	83.0	83.1								
1-4-2	高齢者福祉サービスの充実 (介護が必要になっても高齢者が生活しやすい環境をつくる)	かわさき健幸福寿プロジェクトの実施結果(プロジェクト対象者の要介護度の改善率)	目標値			17.0	17.0	17.0	17.0	%	c	a	d	－	－	●令和2年度の健幸福寿プロジェクトの改善率については、「新型コロナウイルス感染症にかかる要介護認定の臨時的な取扱い」により、認定有効期間を延長することを希望された方については、従来の要介護状態区分を引き継いだ状態で延長されることとなったため、本プロジェクト参加者にも影響があったと考えられます。	
			実績値	16.7	15.9	14.9	17.5	6.2	8月頃判明								
		かわさき健幸福寿プロジェクトの参加事業所数	目標値			250	267	284	300	事業所	a	a	b	c	c		
			実績値	第2期から設定	246	363	338	256	227								
		介護人材の不足感	目標値			－	72.0	－	－	%	－	c	－	－	c		●介護人材の不足感については、高い水準で推移していますが、理由として離職率が挙げられます。離職理由では「結婚・出産・育児」や「労働環境、雇用管理のあり方」等が挙げられることから、今後については事由に応じた対策に取り組んでいきます。
			実績値	75.7	77.2	－	75.8	－	－								
1-4-3	高齢者が生きがいを持てる地域づくり (高齢者が生きがいをもって暮らせる環境をつくる)	シルバー人材センターを通じて、仕事に就いた高齢者の数	目標値			2,510	2,520	2,535	2,550	人	c	c	c	c	●企業等による65歳以上への定年引き上げや高齢者の雇用環境が整備されてきたこと等、経済・社会情勢の変化や新型コロナウイルスの影響等の要因により、シルバー人材センターを通じて仕事に就いた高齢者数は減少しているものの、本市高齢者実態調査(R1年度)において、収入に伴う仕事をしている高齢者の割合は増加しており、高齢者の就業の場の確保の推進施策としては、一定の成果があったものと考えます。		
			実績値	2,453	2,480	2,118	1,973	1,864	1,781								
		高齢者向け施設(いきいきセンター)の利用実績	目標値			29.1	29.1	29.1	29.1	万人	c	c	d	d		●シルバー人材センター同様、いきいきの家及びいきいきセンターの利用者についても企業等による65歳以上への定年引上げや高齢者の雇用環境が整備されてきたこと等により新規利用者の確保が困難であったことその他、新型コロナウイルスの影響等により既存利用者が減少したため、目標を下回りましたが、高齢者の地域活動の場を提供し、社会参加の充実を図るという点においては一定の成果があったものと考えます。	
			実績値	28.9	28.2	26.5	24.0	11.2	15.0								
1-4-4	障害福祉サービスの充実 (障害者が生活しやすい環境をつくる)	長期(1年以上)在院者数(精神障害)65歳以上	目標値			426	418	409	401	人	c	a	c	c	c		●長期(1年以上)在院者数(精神障害)65歳以上については、485人のうち、在院期間1年以上5年未満が約65%(317人)を占めており、受け入れ側の地域の支援体制を整えることにより入院の長期化を予防し、在院者数の減少につながると考えられます。
			実績値	345	434	462	418	449	485								
1-4-5	障害者の自立支援と社会参加の促進 (障害者が社会で活躍しやすい環境をつくる)	障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ市民の割合	目標値			－	32.0	－	33.0	%	－	c	－	c	c	●「障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ市民の割合」は、目標値を若干下回りました。「どちらでもない」と回答した方の割合が、48.46%と最も多く、「接する機会がない」、「周囲に障害のある人がいない」、「働いていたりするところを見たことがない」など「よくわからない」といったコメントが多く、実際に働いている場面等に遭遇しても外見から障害のある方だと判断することが難しいなどの課題があると考えられます。	
			実績値	30.0	30.4	－	29.3	－	28.6								
1-4-6	誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備 (それぞれのニーズやライフスタイルに合った住宅が選択できる環境を整える)	住宅に関する市民の満足度	目標値			77	－	－	－	%	c	－	－	－	c	●「住宅に関する市民の満足度」は、第1期策定時(平成25年度)を下回る結果となっています。本アンケート調査において、住宅に関する個別の項目に関する評価では、バリアフリー性能や遮音性能、省エネルギー性能に関して評価が低い傾向にあることから、引き続き良質な住宅ストックの形成に向けた取組を推進していく必要があります。	
			実績値	73	－	70	－	－	－								
1-4-7	生き生きと暮らすための健康づくり (健康で生き生きとした生活を送る市民を増やす)	40歳代の糖尿病治療者割合(国民健康保険)	目標値			3.0	3.0	3.0	3.0	%	b	c	a	c	c	●40歳代の糖尿病治療者割合(国民健康保険)については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えが発生しましたが、令和3年度については、医療機関における感染防止対策の徹底や必要な受診を控えることのないよう国や県による呼びかけが行われた結果、受診者数が増加したものと考えられます。今後は生活習慣病重症化予防事業の推進等により、糖尿病の予防に取り組んでいきます。	
			実績値	3.10	3.15	3.2	3.3	2.9	3.4								
		食に関する地域での活動に参加する人の割合 (①食育の現状と意識に関する調査)	目標値			－	－	40.0	－	%	－	－	c	－	c		●食に関する地域での活動に参加する人の割合(①食育の現状と意識に関する調査)が前回の調査(平成27年度)を下回る結果となっています。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により地域での食に関するイベントや講座等が減少したことが要因として考えられます。今後は感染防止対策を十分に講じた上で工夫を凝らしながら、取組の推進をしていきます。
			実績値	38.3	33.6	－	－	31.2	－								
1-6-1	医療供給体制の充実・強化 (いつでも安心して適切な医療が受けられる環境を整える)	救急搬送者の119番通報から医療機関までの平均搬送時間【うち救急車の現場到着時間】 ※【】は、救急車の現場到着時間	目標値			42.6【8.4】	42.6【8.4】	42.6【8.4】	42.6【8.4】	分	a	a	a	c	c	●「救急搬送者の119番通報から医療機関までの平均搬送時間」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国的に救急隊の現場到着時間が延伸傾向にある中、本市においても昨年同様に平均搬送時間が延伸しました。119番通報時の聴取内容の増加、救急隊の感染防止装備の確実な装着、医療機関収容所要時間の延伸等が影響したものと考えます。	
			実績値	42.6【8.4】	40.8【8.4】	39.9【8.4】	40.3【8.6】	42.6【9.0】	45.2【9.5】								
1-6-2	信頼される市立病院の運営 (誰もが安心して暮らせる公的医療を提供する)	病床利用率(一般病棟)	目標値			83.0	83.0	83.0	83.0	%	b	b	c	c	c	●「病床利用率」については、救急患者の積極的な受入や、地域医療連携の強化等の取組を推進してきたものの、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、一部病棟を閉鎖して受入制限を行った影響により、入院患者数が減少したことなどから、目標値を達成できませんでした。	
			実績値	72.9	76.5	79.9	79.2	65.9	62.6								
		救急患者受入数	目標値			51,200	51,600	52,000	52,000	人	c	c	d	c	c		●「救急患者受入数」については、目標値を達成できませんでした。これは、近隣医療機関の救急医療体制の強化に伴い、市立病院への救急受入要請数が減少傾向にあることや新型コロナウイルス感染症に伴う患者の受診控えにより、自力での救急受診が減少したことなどが、原因と考えています。一方で、救命救急センターを有する川崎病院において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時を除いては、重症患者の救急搬送はほぼ断ることなく受入れており、市の基幹病院としての役割を果たすことができています。
			実績値	49,873	48,835	45,144	44,628	30,064	34,108								

※掲載している数値や区分等については、6月30日時点でのものであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策名 (直接目標)		成果指標	成果指標の達成状況等											原因分析等		
			目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	H30年度	R1年度	R2年度	第2期総括 目標値 (R3年度)	指標の補 足説明 ※1	H30年度 達成度	R1年度 達成度	R2年度 達成度		R3年度 達成度	第2期総括 達成度
1-6-3	健康で快適な生活と環境の確保 (感染症・食品等による健康被害を防止するとともに、良好な生活環境を整える)	麻しん・風しん予防接種の接種率【第1期】 ※【第1期】:1歳の間	目標値			98.6	98.6	98.6	98.6	%	a	b	a	c	c	●麻しん・風しんワクチンの接種率については、新型コロナウイルス感染症による接種控えなどの影響もあり、目標値を達成できませんでしたが、規定時期に予防接種を受けられなかった方に対し接種期間の延長を実施したことにより、高い接種率を維持できたことについては、一定の成果があったものと考えます。
			実績値	98.6	98.5	99.1	97.6	99.2	96.9							
		食中毒の発生件数	目標値			8	8	8	8	件	d	a	a	c	c	
			実績値	8	13	16	8	8	11							
2-1-1	子育てを社会全体で支える取組の推進 (地域で子育てを支えるしくみをつくる)	ふれあい子育てサポートセンターの利用者数	目標値			16,300	16,300	14,675(16,300)	14,756(16,600)	人	c	c	d	d	d	●「ふれあい子育てサポートセンターの利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回りましたが、地域で子育てを支えるしくみづくりは、互いに支え合う子育て援助活動の取組によって推進しており、一定の成果があったものと考えます。
実績値	15,665	15,596	13,906	14,858	8,292	8,830										
2-1-2	質の高い保育・幼児教育の推進 (子どもを安心して預けられる環境を整える)	保育所等における利用者の満足度	目標値			-	8.2	-	8.2	点	-	c	-	c	c	●保育所等における利用者の満足度については、目標達成に至りませんでしたが、全調査項目で「満足」(6点以上)と回答した方が90%を超える結果となりました。調査項目のうち、保育所等の情報の入手のしやすさについて、満足(6点)以上が多かったものの、平均が約6.7点と他の項目より低く、コロナ禍において、保育所等の見学などが十分にできなかったことなどが要因と考えます。これらを踏まえ、情報発信等を工夫するとともに、保育・子育て総合支援センターや公立保育所を中心に、専門的な知識や技術を民間保育所等と共有しながら、保護者の支援を担える保育人材の育成をより一層強化する必要があります。
			実績値	7.9	8.1	-	7.8	-	7.8							
2-1-3	子どものすこやかな成長の促進 (子どもがすこやかに成長できるしくみをつくる)	わくわくプラザの登録率(わくわくプラザ利用実績報告書)	目標値			48.7	48.8	48.9	49.0	%	a	a	c	c	c	●わくわくプラザの登録率は、令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「やむを得ない事情で自宅にお子様を見守る方がいない家庭の児童」のみに利用対象を絞り込んだため、令和3年度を通した登録率は目標値49.0%を下回りましたが、四半期ごとの推移を見ると4月:31.7%、7月:33.8%、10月:34.2%、1月:34.5%と徐々に回復傾向にあり、感染症対策を講じた事業推進が図られており、全ての小学生の安全・安心な放課後の居場所として、一定の役割を果たしています。
			実績値	46.3	48.1	48.8	49.6	36.2	33.8							
2-2-1	「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進 (すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う学校をつくる)	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した児童の割合【小6】	目標値			78.0	79.0	80.0	81.0	%	-	a	-	c	c	●「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえばしている【小6】【中3】」では、策定時より実績値が下がっています。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からいろいろな活動が制限されてしまったことが原因の一つとして考えられますので、引き続き対策を講じながら改善を図っていく必要があります。
			実績値	75.9	78.8	-	79.3	-	73.0							
		「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合【中3】	目標値			69.5	71.0	72.5	74.0	%	-	b	-	c	c	
			実績値	66.7	71.7	-	70.2	-	66.0							
		「学習が好きだ、どちらかといえば好きだ」と回答した児童の割合【小5】	目標値			78.4	78.9	79.5	80.0	%	c	c	c	c	c	
			実績値	第2期から設定	77.8	76.2	77.7	73.9	75.4							
		「授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ、どちらかといえば役に立つ」と回答した児童の割合【小5】	目標値			94.4	94.9	95.5	96.0	%	c	c	c	c	c	
			実績値	第2期から設定	93.8	91.7	92.3	90.9	92.4							
2-2-2	一人ひとりの教育的ニーズへの対応 (支援が必要な児童生徒の学習環境を向上させる)	いじめの解消率【中学校】	目標値			90.5	91.0	91.5	92.0	%	b	b	c	c	c	●「いじめの解消率」については、国のいじめの認知に関する考え方の周知が図られ、被害にあった児童生徒が心身の苦痛を感じていると判断した場面をきめ細かく認知している一方、いじめ解消の定義(被害者に対する心理的又は物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が相当の期間(少なくとも3か月を目安)継続していること)に基づき判断した結果、「解消」とできない事案が多くなることから、いじめについて丁寧かつ慎重に対応することとなるため、解消率が目標値を下回りました。なお、令和2年度間の認知したいじめについて、年度を超えて解消した率(令和3年7月20日時点)は、小学校で90.2%、中学校で91.2%となっています。
			実績値	83.2	91.8	85.8	89.0	81.9	76.5							
		不登校児童生徒の出現率【小学校】	目標値			0.30	0.30	0.30	0.30	%	d	d	d	d	d	
			実績値	0.38	0.52	0.59	0.72	0.94	1.09							
		不登校児童生徒の出現率【中学校】	目標値			3.38	3.37	3.35	3.34	%	c	c	c	c	c	
			実績値	3.48	3.82	4.24	4.62	4.76	4.61							
2-2-3	安全で快適な教育環境の整備 (安全で快適に過ごせる学習環境を整える)	児童生徒の登下校中の事故件数	目標値			27	26	26	25	件	b	c	c	c	c	●各学校における児童生徒の発達段階に応じた安全教育や登下校時の通学指導の実施、関係機関との連携による通学路の危険個所の点検・改善の取組、学校・家庭・地域等と連携した見守り活動の推進など、さまざまな取組を進めてきましたが、児童生徒の登下校中の事故件数について目標を下回る結果となりました。事故の原因として最も多いものとして、運転手側の前方不注意が挙げられます。この結果を学校をはじめ、警察等関係機関と共有するとともに、児童生徒の交通事故防止に向け、関係機関と協力・連携した児童生徒のさらなる安全確保に向けた取組を進めることが必要です。
			実績値	29	28	28	34	36	37							
2-2-4	学校の教育力の向上 (教職員の資質を高め、保護者や地域と連携して、よりよい学習活動(授業等)を実現する)	「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえばしている」と回答した児童の割合【小6】	目標値			55.6	56.3	56.9	57.5	%	c	a	-	c	c	●地域行事への参加については、新型コロナウイルス感染症防止のために地域行事がなくなり、地域住民との交流も制限されたことにより、小6中3ともに目標値を下回ったものの、保護者や地域との連携体制の仕組みづくりを進めるために、学校運営協議会設置校(コミュニティ・スクール)を7校拡充したことで、一定の成果があったものと考えています。
			実績値	53.6	47.4	52.5	57.0	-	45.0							

施策名 (直接目標)		成果指標	成果指標の達成状況等											原因分析等		
			目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	H30年度	R1年度	R2年度	第2期総括 目標値 (R3年度)	指標の補 足説明 ※1	H30年度 達成度	R1年度 達成度	R2年度 達成度		R3年度 達成度	第2期総括 達成度
2-3-2	自ら学び、活動するための支援 (市民が生き生きと学び、活動するための環境をつくる)	教育文化会館・市民館・分館の社会教育振興事業参加者数	目標値			9.0	9.1	9.1	9.1	万人	c	c	d	d	d	●「教育文化会館・市民館・分館の社会教育振興事業参加者数」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月27日以降、事業を中止にしたり、実施する場合にも回数を減らし、定員を半数にするなどの対応を行っていた影響が大きく、目標値を大幅に下回りました。 ●「教育文化会館・市民館・分館施設利用率」については、平成29年度末の教育文化会館のホール閉鎖により、ホール利用に伴うイベントホールや会議室等の利用がなくなったこと、また、令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響から利用が控えられたことなどから利用率が低下し、目標未達成となりました。 ●「市立図書館・分館における図書館の入館者数」については、ICTの活用等により来館しなくても本の予約や蔵書検索ができるようになったことなどから近年減少傾向にあることに加え、平成30年度は、図書館システムの機器更新による約1か月間の全図書館の閉館、令和元年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための令和2年3月2日以降の一部サービスの休止の影響等により、目標未達成となりました。 ●「学校施設開放の利用者数」については、平成30年度は目標を上回っているものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度及び令和2年3月2日以降、利用中止としたことから、目標を下回る結果となりました。なお、校庭や体育館に比べて、特別教室の利用が少ないことが課題であり、ニーズの掘起こしなど特別教室の更なる活用に向けた取組が必要となっています。 ●「社会教育振興事業を通じて新たなつながりが増えた割合」については、令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講者数や実施回数、講座時間数等を制限したり、学習手法についても学習者同士が話し合うなどの交流活動を実施できなかったことから、目標値を下回りました。新しい生活様式に対応したつながりづくりに向けて更なる検討やICT活用における実施上の工夫などの取組の推進が必要となっています。
			実績値	8.9	8.9	8.7	6.8	1.3	2.4							
		教育文化会館・市民館・分館施設利用率	目標値			57.0	57.1	57.2	57.3	%	c	c	c	c	c	
			実績値	56.6	56.7	53.5	53.2	37.8	47.3							
		市立図書館・分館における図書館の入館者数	目標値			435.5	436.0	436.5	437.0	万人	c	c	c	c	c	
			実績値	433.7	409.4	387.0	386.0	266.0	336.0							
		学校施設開放の利用者数	目標値			262.7	264.4	266.0	267.7	万人	a	c	d	-	-	
			実績値	260.9	267.2	275.8	258.5	145.1	6月頃判明							
		社会教育振興事業を通じて新たなつながりが増えた割合	目標値			69.4	69.8	70.1	70.5	%	b	c	c	c	c	
			実績値	67.5	70.4	68.6	56.7	46.6	48.3							
1-1-1	災害・危機事象に備える対策の推進 (災害発生時の被害や生活への影響を減らす)	避難所運営会議を開催している避難所の割合	目標値			71.4	72.5	74.2	75.2	%	a	a	b	c	c	
			実績値	66.9	68.0	90.9	92.0	68.2	61.4							
1-1-4	消防力の総合的な強化 (消防力を強化することで、さまざまな災害から市民を守る)	消防団員数の充足率	目標値			90.0	90.3	90.6	90.8	%	c	c	c	c	c	
			実績値	87.8	86.5	84.3	82.2	81.2	79.3							
3-3-1	協働の取組による緑の創出と育成 (多様な主体との協働、連携により緑を育む)	緑のボランティア活動の累計か所数	目標値			2,390	2,400	2,410	2,420	箇所	c	c	c	c	c	
			実績値	2,355	2,321	2,334	2,337	2,304	2,298							
3-3-5	多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進 (多くの市民が「憩い」「遊び」「学ぶ」多摩川の魅力を高める)	渡し場イベントの参加者数	目標値			3,400	3,900	4,400	4,900	人	b	d	d	d	d	
			実績値	第2期から設定	2,400	2,700	0	500	0							
4-5-1	魅力にあふれた広域拠点の形成 (川崎・武蔵小杉・新百合ヶ丘駅周辺の魅力を高める)	広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅平均乗車人員	目標値			55.8	56.8	57.8	58.8	万人/日	a	a	a	c	c	
			実績値	52.4	56.4	58.2	58.8	58.6	41.9							
4-5-2	個性を活かした地域生活拠点等の整備 (新川崎・鹿島田・溝口・鷺沼・宮前平・登戸・向ヶ丘遊園駅周辺の魅力を高める)	地域生活拠点(新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅)の駅平均乗車人員	目標値			48.5	48.8	49.2	49.5	万人/日	a	a	a	c	c	
			実績値	47.3	48.3	49.3	50.0	50.1	35.7							
4-7-4	市バスの輸送サービスの充実 (安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する)	有責事故発生件数(走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数)	目標値			0.28	0.28	0.28	0.28	件	a	a	c	c	c	
			実績値	0.29	0.38	0.28	0.28	0.40	0.36							
		市バスの乗車人数(1日平均)	目標値			13.1	13.1	13.1	13.1	万人	a	a	b	c	c	
			実績値	12.79	13.09	13.47	13.46	12.90	12.41							
4-1-2	魅力と活力のある商業地域の形成 (魅力と活力のある商業地域の形成や付加価値が高く競争力のある商品の供給により、商業を活性化させる)	市内商店街で行われる新たな顧客の創出や商店街の回遊性を高めるイベントの開催数	目標値			19	20	21	22	回	a	a	d	d	d	
			実績値	第2期から設定	17	19	20	3	4							
		市場の年間卸売取扱量	目標値			151,433	151,433	151,433	151,433	t	c	c	c	c	c	
			実績値	151,433	133,290	134,261	136,561	137,332	135,996							

※掲載している数値や区分等については、6月30日時点でのものであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策名 (直接目標)		成果指標	成果指標の達成状況等											原因分析等		
			目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	H30年度	R1年度	R2年度	第2期総括 目標値 (R3年度)	指標の補 足説明 ※1	H30年度 達成度	R1年度 達成度	R2年度 達成度		R3年度 達成度	第2期総括 達成度
4-1-3	中小企業の競争力強化と 活力ある産業集積の形成 (市内中小企業の技術を 活かして事業展開できる 環境を整備することで、経 営を改善し、成長を促進さ せる)	知的財産交流会におけるマッチングの年間成立件数	目標値			4	4	4	4	件	a	a	d	c	c	●知的財産交流会におけるマッチングについては、新型コロナウイルス感染症の影響による開催方法の制限等により、成立件数としては令和2年度が2件、令和3年度が3件と目標を下回りましたが、インターネットやメルマガを活用した開放特許の発信、リモートによるシーズ発表や個別面談など工夫して開催し、継続的に大企業のシーズを開拓することで40社を超える企業が参画するとともに、金融機関や他都市の自治体と連携し交流会を開催するなど広域的に拡大しながら展開しており、一定の進捗があったものと考えています。
			実績値		4	3	5	4	2							
4-2-3	科学技術を活かした研究 開発基盤の強化 (先端科学技術分野にお いて、高付加価値で競争 力の高い製品を創出する)	川崎市コンベンションホールの稼働率	目標値			55	55	55	55	%	b	b	d	c	c	●「川崎市コンベンションホールの稼働率」については、平成30年度の開館当初は実績値が低かったものの、令和元年度は周知・広報等が徐々に浸透したことにより、前年度の実績値を上回りました。しかしながら、令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者からのキャンセルや借り控えが発生するとともに、施設としても「新型コロナウイルス感染症に対する本市行政運営方針」を踏まえ、開館時間の短縮・施設利用定員数の半減・施設内での食事の原則禁止、などを行った結果、実績値が大きく下がりました。令和3年度にはコロナ禍でも需要がある教育・資格等分野への広報を重点的に行ったことで回復傾向にあるものの、引き続き産業交流の促進を図るため、民間のノウハウを活かした更なる需要の掘り起こしや、市内企業等に対して個別に周知・コンサルティング等を行うなど、改善に取り組んでいく必要があります。
			実績値	—	—	38	42	21	35							
4-3-1	人材を活かすしくみづくり (市内での雇用を促進する とともに、市内の優れた技 能を次世代に継承する)	就業支援事業による年間就職決定者数	目標値			486	487	488	490	人	a	a	c	c	c	●成果指標の「キャリアサポートかわさきにおける就職決定者数」は、おおむね目標どりの実績となっていました。R2、R3年度については新型コロナウイルス感染症の影響により雇用情勢の悪化や広報活動の停滞、求職者・求人企業の活動自粛等により目標を大きく下回っています。しかし、求人開拓員増員により、求人開拓件数や年間登録者に対する年間就職決定者数の割合は増加傾向がみられるため、引き続き体制強化を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により特に影響を受けている非正規や女性等を中心に支援を強化するなど実施内容の見直し等について検討していきます。
			実績値	465	472	490	502	412	375							
		かわさきマイスターのイベント出展等の活動回数	目標値			99	100	101	102	件	a	a	d	c	c	●成果指標の「かわさきマイスターのイベント出展等の活動回数」は、おおむね目標どりの実績となっていました。R2、R3年度については新型コロナウイルス感染症の影響により学校派遣、イベントへの出展や市民向け講座が中止となったため目標を大きく下回っています。今後は感染防止のための対策を実施しながら講座等の活動の充実や広報の強化を進めるとともに、コロナ後の生活様式の変化に対応した新たな活動の提案や新規出展の開拓を行っていきます。
			実績値	第2期から設定	97	100	102	38	62							
4-3-2	働きやすい環境づくり (誰もが働きやすい環境を 整える)	勤労者福祉共済の新規加入者数	目標値			405	410	415	420	人	c	c	d	d	d	●新規会員促進については、川崎市主導で実施してきましたが、企業訪問数が少なかったこと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、企業の経営や雇用に関する影響がある状況であったため、新規加入者数が231人と目標数である420人を下回りました。
			実績値	第2期から設定	398	294	277	231	231							
4-4-1	臨海部の戦略的な産業集 積と基盤整備 (臨海部の立地企業を増 やし、生産活動を活発にす る)	川崎区の従業者1人あたりの製造品出荷額	目標値			16,000	16,300	16,600	17,000	万円	c	c	c	—	—	●「川崎区の従業者1人あたりの製造品出荷額等」については、川崎区の製造品出荷額等の大部分を占めるのが石油・化学・鉄鋼の素材型産業であり、原油・原料価格及び為替の影響等を大きく受けることから、原油価格が高騰していた平成26年比で製造品出荷額が低下し、その結果、目標を下回りました。
			実績値	14,500	14,527	12,478	13,318	12,192	R4.12月頃判明							
4-4-2	広域連携による港湾物流 拠点の形成 (川崎港での物流を活発に する)	川崎港取扱貨物量(公共埠頭)	目標値			1,157	1,175	1,192	1,210	万t	c	c	c	c	c	●川崎港取扱貨物量(公共埠頭)については、新型コロナウイルス感染症や半導体需給逼迫等の影響で完成自動車の取扱量が減少したことなどから、目標を下回りました。
			実績値	1,134	1,044	971	977	963	888							
4-4-3	市民に開かれた安全で快 適な臨海部の環境整備 (川崎港の魅力を市民に 広めるとともに、港の活力 を高める)	川崎マリエン利用者数(港湾振興イベント及びスポー ツ施設等の利用者を含む)	目標値			41.25	41.5	41.75	42	万人	a	d	d	d	d	●「川崎マリエン利用者数(港湾振興イベント及びスポーツ施設等の利用者を含む)」については、テニス教室やビーチバレー普及事業などの一般市民向けイベントを積極的に開催し利用者の増加に努めましたが、川崎みなと祭りが令和1年度は台風、R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったほか、R3年度は感染症対策を踏まえた規模での開催となったことが大きく影響し、目標を達成できませんでした。
			実績値	40	34.5	42.3	16.8	12.4	14.6							
4-8-1	スポーツのまちづくりの推 進 (スポーツを身近に感じ、 楽しむ市民を増やす)	年1回以上の直接観戦率	目標値			—	32.0	—	33.0	%	—	a	—	d	d	●スポーツ観戦率は15.1%で目標値を大きく下回りました。かわさきスポーツパートナー各チームの活躍があったものの、新型コロナ ウイルス感染症の影響により無観客や観客数を制限して試合が行われるなど、観戦の機会が減少したことが大きく影響している ものと考えます。また、観戦率を居住区別にみると、各チームの活動拠点から近い中部の3区(中原、高津、宮前)が全体平均より高 く、南部(川崎、幸)と北部(多摩、麻生)は全体平均より低くなっています。スポーツの魅力が市内全域に広がるよう、引き続きス ポーツを「みる」機会の創出に取り組む必要があると考えます。
			実績値	30.4	26.1	—	32.5	—	15.1							
		スポーツセンター等施設利用者数	目標値			267.0	270.0	273.0	276.0	万人	a	a	d	c	c	●スポーツセンター等施設利用者数は177.8万人(見込)で、前年の123.9万人を上回ったものの、目標値を下回りました。令和2年度 に続き、新型コロナウイルス感染症の影響から、本市の行政運営方針に基づく施設運営を行ったことや、利用を控えた方が一定数 いたことによるものと考えます。引き続き、必要となる感染防止対策を実施した上で安全・安心な施設運営を行うことにより、市民の スポーツを「する」機会の充実を図っていく必要があると考えます。
			実績値	261.8	259.9	321.7	294.3	123.9	177.8							
		市障害者スポーツ大会競技参加者数	目標値			391	399	407	415	人	b	a	d	d	d	●市障害者スポーツ大会競技参加者数は201人で、目標値を下回りました。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった1 競技を除き、感染防止対策を行いながら5競技で大会を開催することができましたが、障害のある方には重症化等のリスクが高い 方も多いことから、参加を見送った方も一定程度いたものと考えます。引き続き、障害のある方が安全・安心な環境で参加できるよ う、必要となる感染防止対策を実施したうえで大会を開催し、パラスポーツの振興を図っていく必要があると考えます。
			実績値	359	402	366	422	0	201							

※掲載している数値や区分等については、6月30日時点でのものであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策名 (直接目標)		成果指標	成果指標の達成状況等											原因分析等		
			目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	H30年度	R1年度	R2年度	第2期総括 目標値 (R3年度)	指標の補 足説明 ※1	H30年度 達成度	R1年度 達成度	R2年度 達成度		R3年度 達成度	第2期総括 達成度
4-8-2	市民の文化芸術活動の振興 (市内の文化芸術活動を推進し、一層市民に身近なものにする)	主要文化施設の入場者数	目標値			136.8	138.0	139.2	140.5	万人	a	c	d	d	●主要文化施設の入場者数は、平成30年度は目標値を達成しましたが、令和元年度は台風への対応による臨時休館(園)、また、市民ミュージアムが10月の台風以降休館となったこと、さらに、新型コロナウイルスの感染症対策による施設の臨時休館や各種イベント等の中止・延期などの影響により、達成率は83.3%と目標値を下回り、令和2年度についても41.0%、令和3年度についても58.6%と新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により目標値に達することができませんでした。	
		実績値	126.9	128.6	139.3	114.9	57.1	82.3								
		年1回以上文化芸術活動をする人の割合	目標値			-	17.0	-	18.0	%	-	c	-	c	c	●年1回以上文化芸術活動をする人の割合について、令和元年度は、13.4%と目標値を下回り、令和3年度は、12.1%と令和元年度よりも減少し目標値に達することができませんでした。全体的な減少については、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止等が影響していると考えられますが、市民アンケートの結果を見ると、年齢別の比較において、18～39歳が16.3%、40～64歳が9.5%と、40～64歳が低くなっており、今後、新型コロナウイルス感染症の収束による活動増を見据え、これまでの取組に加え、SNSの活用など、これらの年代の方にも情報が届く効果的な広報に取り組む必要があります。
			実績値	14.6	12.8	-	13.4	-	12.1							
4-8-3	音楽や映像のまちづくりの推進 (音楽や映像を活用して、都市の魅力向上や地域の活性化につなげる)	「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人の割合	目標値			-	56.0	-	57.0	%	-	c	-	c	c	●「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人の割合は目標値を下回っています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、実際に音楽に触れ、活動する機会が制限されたことが要因の一つと考えられます。また、20代、30代の市民の実感度が他の世代に比べて低くなっています。区域別では、ホールでの音楽公演や街なかでイベントを多く実施している川崎区、幸区、中原区、麻生区が他区と比較して割合が高く、「音楽のまち」の取組自体は一定の評価を得ているものと考えますが、割合の低かった高津区、宮前区、多摩区における環境づくりが課題となっています。
			実績値	53.3	54.0	-	51.8	-	46.3							
		ミュージア川崎シンフォニーホール主催・共催公演の入場者率	目標値			73.25	73.50	73.75	74.00	%	a	a	b	c	c	●ミュージア川崎シンフォニーホールは、良質な公演の企画・開催、効果的・効率的な運営に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等、政府・市の方針による利用制限(収容率50%以内・最大20時まで・夜間区分及び全日区分の新規予約停止等)及び外出自粛要請等の影響で、主催・共催公演の入場者率・入場者数ともに目標を下回りました。
			実績値	72.0	73.0	75.67	75.54	72.61	70.77							
		「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合	目標値			-	22.5	-	25.0	%	-	c	-	d	d	●「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合については、目標を下回りました。これは、近年ロケ地がかわさき推進事業において、平成27年度の「シン・ゴジラ」のような川崎を舞台とした全国規模で有名な大きな映画のロケがなく、取組を知る機会が少なくなっていることが要因の一つと考えられます。また、回答を地域別に見ると、令和元年度まで映画コンクールの表彰式等があり映像イベント等の多い川崎区、幸区や、映画大学やアートセンターが立地し、映画祭が開催されている麻生区では、「市の取組を知っており、評価できる」と回答した市民がそれぞれ18.4%、16.1%、17.4%と他区と比較して割合が高く、映像のまちづくりの取組自体は一定の評価を得ているものと考えますが、一方で、市の中部では割合が低い傾向にあります。なお、「市の取組を知らないが、取組(ドラマ等の撮影の誘致)は評価できる」と回答した人が、市中部も含め約45%いることから、今後は、イベントの実施など取組の推進と併せて、市の取組自体を市民に知っていたいただけるよう事業の周知に努める必要があります。
			実績値	18.4	19.1	-	16.3	-	11.4							
4-9-1	都市イメージの向上とシンビックプライドの醸成 (市内外における市の認知度・好感度を高める)	シンビックプライド指標 市民の市に対する「愛着」に関する平均値	目標値			6.2	6.3	6.4	6.5	点	c	c	c	c	●都市イメージ調査によると、第1期策定時と比較して、令和3年度の市民による「愛着」の数値は0.5ポイント低下、「誇り」の数値は0.1ポイント低下しており、令和3年度の調査結果では、若年者層ほど低く、高齢者層ほど高くなる傾向にあります。 ●また、第1期策定時と比較して、令和3年度の隣接都市からの本市のイメージは10.5ポイント低下しており、イメージが低下した原因を特定することは難しいものの、市内で発生した人々の印象に強く残る事件・事故が影響している可能性が考えられます。 ●今後は、引き続き、本市の魅力的な情報とあわせ、施策や事業、各種統計データ等に基づいた情報を多様な手法を活用し発信していく必要があります。	
			実績値	6.0	5.9	5.4	5.4	5.4	5.5							
		シンビックプライド指標 市民の市に対する「誇り」に関する平均値	目標値			5.2	5.3	5.4	5.5	点	c	c	c	c		c
			実績値	5.0	4.9	4.8	4.7	4.7	4.9							
		隣接都市における、川崎市に良いイメージがあると感じている人の割合	目標値			51.5	52.0	52.5	53.0	%	c	c	c	c		c
			実績値	50.3	42.0	41.5	35.5	36.0	39.8							
4-9-2	川崎の特性を活かした観光の振興 (市内への集客及び滞在を増加させる)	主要観光施設の年間観光客数	目標値			1,696	1,748	1,801	1,856	万人(「年」表記)	b	b	c	d	d	●「主要観光施設の年間観光客数」は、施設のリニューアルによる休館等の影響があったほか、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による国内での移動制限等の影響で激減し、目標値を大幅に下回りました。
			実績値	1,504	1,549	1,628	1,560	1,276	1,068							
		宿泊施設の年間宿泊客数	目標値			190	193	195	198	万人(「年」表記)	a	a	c	c	c	●「宿泊施設の年間宿泊客数」、「外国人宿泊客数」は、市内に新たな宿泊施設が開業したことなどにより令和元年まで順調に増加しておりましたが、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の拡大による訪日外国人の入国制限や国内での移動制限などの要因で激減しており、目標値を下回りました。
			実績値	178	183	195	217	140	134							
		宿泊施設の年間宿泊客数【外国人】	目標値			21	22	22	23	万人(「年」表記)	a	a	d	d	d	●「宿泊施設の年間宿泊客数」、「外国人宿泊客数」は、市内に新たな宿泊施設が開業したことなどにより令和元年まで順調に増加しておりましたが、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の拡大による訪日外国人の入国制限や国内での移動制限などの要因で激減しており、目標値を下回りました。
			実績値	15	20	26	28	6	1							
		工場夜景・産業観光ツアーの年間参加者数	目標値			7,400	7,700	7,900	8,100	人(「年」表記)	c	c	d	d	d	●「工場夜景・産業観光ツアーの年間参加者数」は、民間事業者による競合ツアーの増加や台風等の影響によるツアーキャンセルなどの影響があったほか、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による国内での移動制限等の影響で激減し、目標値を大幅に下回りました。また、各ツアーは一定の人気は有るものの、参加者の年齢層が高いことが集客の伸び悩みにつながっており、今後はSNS等を活用した若年層へのターゲット拡大を図る必要があります。
			実績値	6,600	5,416	5,300	4,800	900	1,200							
5-1-1	市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり (多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める)	地域貢献活動に関する取組にかかわったことのある人の割合	目標値			-	22.0	-	23.0	%	-	c	-	c	c	●令和3年度実施の市民アンケート結果において、活動の興味はあるが、関わっていない人の割合が46.8%であり、そうした人に関わってもらうかが課題となっています。今回、地域貢献活動に関する取組に関わったことのある人の割合は目標値に達しませんでした。前回実績に比べて数値が上昇していることから、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の成果が少しずつ表れていることが考えられます。また、プロボノを活用した人材マッチング事業において、10団体に67名のプロボノカーをマッチングしていることから、市民参加を支援するとともに、町内会・自治会関係団体の支援にも活用できていると考えられます。
			実績値	19.8	15.3	-	15.7	-	16.9							
		町内会・自治会加入率	目標値			64.0	64.0	64.0	64.0	%	b	c	c	c	c	●町内会・自治会加入率は、近年、漸減傾向にあり、要因として、ライフスタイルや価値観の多様化、単身世帯の増加や核家族化の影響で世帯規模が減少していることなどにより全国的に加入率が漸減していることが挙げられます。また、コロナ禍において、地域活動の自粛により、町内会・自治会活動に大きな影響が出ています。こうした状況を踏まえ、今後も町内会・自治会の重要性や魅力を発信するとともに、令和3年度に創設した町内会・自治会活動応援補助金を活用し、町内会・自治会活動の活性化に努めています。
			実績値	63.8	63.2	61.0	60.2	59.0	58.4							

※掲載している数値や区分等については、6月30日時点でのものであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策名 (直接目標)		成果指標	成果指標の達成状況等												原因分析等	
			目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	H30年度	R1年度	R2年度	第2期総括 目標値 (R3年度)	指標の補 足説明 ※1	H30年度 達成度	R1年度 達成度	R2年度 達成度	R3年度 達成度		第2期総括 達成度
5-2-1	平等と多様性を尊重した 人権・平和施策の推進 (平等と多様性を尊重する 意識を高める)	平等と多様性が尊重されていると思う市民の割合	目標値			－	41.0	－	41.0	%	－	b	－	c	c	●「平等と多様性が尊重されていると思う市民の割合」は36.6%と、令和元年度の38.2%と比べ若干低下しました。「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」の周知に向けた広報をはじめ、幅広く人権啓発に係る広報や人権教育、人権相談に係る取組を行ってきましたが、手法、内容等に改善の余地があると考えられることから、より効果的・積極的な取組を行っていくことが必要と考えます。
			実績値	40.6	35.0	－	38.2	－	36.6							
5-2-2	男女共同参画社会の形成 に向けた施策の推進 (性別に関わりなく誰もが 個性や能力を発揮できる 環境を整える)	市の審議会等委員に占める女性の割合	目標値			37.0	38.0	39.0	40.0	%	c	c	c	c	c	●審議会の女性委員の割合は未達成となりました。特定の分野(理系、工学、医学など)に女性学識者が少ないことや、委員推薦団体の役職等に女性が少ないことが要因と考えられます。解消に向けては事前協議のより早い段階での実施や、団体に対し役職にこだわらない幅広い推薦者検討の依頼などを審議会所管課に依頼するなどの取組を引き続き行っていきます。
			実績値	31.5	31.3	30.7	31.2	31.1	31.2							